

民主「エース級」を投入

首相はゴルフに例え持論展開

重要テーマをめぐる民主党議員の追及と安倍首相の答弁

追及内容	テーマ	首相の答弁
民主党 首相が「3本の矢」を実行できたのは、民主党政権が増税を決め、財政健全化に道筋をつけたからだ	消費税	消費税を上げるために、「3本の矢」の経済政策を実行したわけではない。実行した結果、増税することができた
内閣法制局長官を代えて、集团的自衛権の行使を容認する憲法解釈を変更するのは姑息だ	憲法	法制局長官に解釈を変えさせるわけではなく、有識者会議で議論していく
農家は参院選の総合政策集にある重要5項目の「聖域」は586品目と理解している。関税撤廃の検証は公約違反だ	TPP	総合政策集は、目指すべき方向を示している。5項目を守るため党が検証している

民主党はこの日、三時間の持ち時間を六人が分担し、一人三十分間を使ってさまざまな角度から首相を攻め立てた。最も時間をかけた。最も時間をかけた。最も時間をかけた。

消費税、憲法、TPP追及

(安藤美由紀、清水俊介)

衆院予算委員会が二十一日始まった。安倍晋三首相を追及する野党のトップとして民主党は閣僚経験者など「エース級」を投入。消費税増税や環太平洋連携協定(TPP)の参加問題を次々とたたき出した。だが、持論を繰り返す首相が答弁に窮する場面はなく、突き崩すところまではいかなかった。

衆院予算委

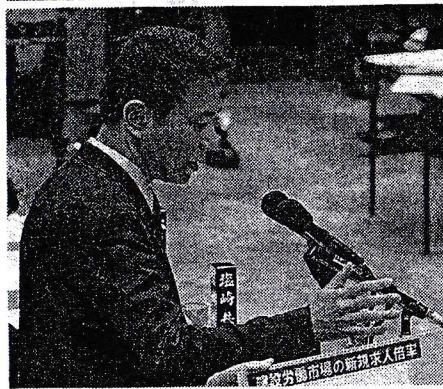
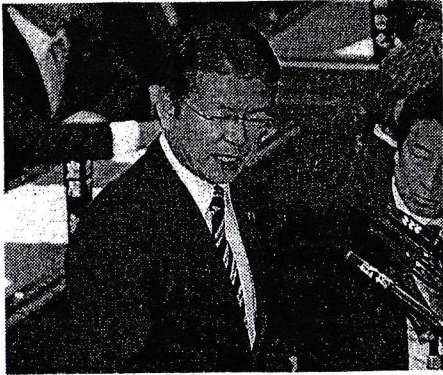
は消費税増税に関する「自民、公明、民主の三党で合意した(増税分の)使い道は二つ。社会保障の充実と借金返しの促進だ。公共事業に使って二年后に国の赤字を半分にするのか」と質問。安倍政権が掲げる「世界一企業が活躍しやすい国」の中身もたたき出した。

前原誠司元外相は、安倍政権の金融緩和策で物価高になり、庶民の生活を脅かしている」と主張。政府が全国で展開する公共事業で業者が分散し、東日本大震災の被災地の復興を妨げる懸念がある」と指摘した。

これに対し、首相は「強い経済を取り戻し、賃金上昇で家計は潤い、社会保障は安定する」とこれまでの説明に終始。首相はデフレ経済を金融緩和で脱却する必要性をゴルフに例え「ボールはバンカーに入ってしまった。グリーン先の崖がある」と心配して、ずっとパターで打っていたら出ない。われわれはサンドウェッジでグリーンに乗せようとしている」と強調した。

TPPは民主党政権時、首相補佐官として交渉参加の可能性を探った大串博志氏が追及した。自民党が「聖域」として、関税を守る公約した「コメ」など農産物の重要五項目をめぐり、細かく分類した五百八十六品目の関税撤廃を検討していることを受け「五百八十六品目すべてが『聖域』なのか」と繰り返す質問。しかし、首相は「守るべきものは守る」「党で検証している」とかわし続けた。

篠原孝氏は、首相が夏の参院選で訴えた改憲手続きを定めた九六条の先行改憲について「姑息で横道からのアプローチだ」と批判。首相は「まだ過半数の支持を得るに至っていない。大きな議論の中で考えていきたい」と述べるにとどめた。



衆院予算委で質問する民主党の長妻昭氏(左)と前原誠司氏(右) 21日、国会で